

〔資料提供〕

月 日	担当課（室・館等）	電話	担当者
令和8年4月17日	博物館	088-668-3636	大橋俊雄 (人文担当)

企画展

「まぼろしの漆器 阿波の半田塗」

の開催について

1 開催趣旨

徳島県美馬郡つるぎ町半田では、かつて木地に漆を塗る漆器が作られました。それらは半田塗または半田漆器と呼ばれ、生産が18世紀前半に始まり、1970年まで続きました。製品は、庶民向けの膳椀が中心で、商圏が四国、近畿、中国、九州、関東などの広い範囲におよび、盛時の半田は、西日本有数の漆器産地として知られました。しかし現在は、地元でも生産されていた事実を知る人が減り、どのような製品なのかほとんど分からなくなっています。

近年、かつて半田塗の製造販売の担い手であった、敷地屋大久保本家の子孫の方より、当館および県立文書館に資料が寄贈されました。この展示では、それらの資料などを中心に、半田塗について紹介します。

2 主 催 徳島県立博物館

3 会 期 令和8年4月25日（土）から5月24日（日）まで（開館日数：26日）
休館日：月曜日（5月4日は開館）、5月7日（木）

4 開館時間 午前9時30分～午後5時

5 会 場 徳島県立博物館1階 企画展示室

6 観覧料

一般400円、高校・大学生200円、小・中学生100円

※土曜日・日曜日・祝日は高校生以下無料

※各種減免あり

7 展示構成

(1) 漆器いろいろ

おもに江戸後期から明治にかけての、蒔絵がほどこされた漆器を展示します。半田塗以外の漆器のイメージをしめします。

(2) 敷地屋大久保本家の漆器

敷地屋大久保本家は、江戸後期から大正にかけて、半田における塗物生産の最大の担い手でした。同家に伝来した漆器のうち、半田塗とみられる製品をおもに展示します。

(3) 半田塗に関わる文書など

今まで公開されなかった、大久保本家に伝えられた文書などを展示し、記録から半田塗をさぐります。

(4) 半田塗の諸相

おもに県下に伝わった半田漆器や、最後の職人であった竹内久雄氏（1928～2013）の作品などを展示します。

8 展示解説

日時 4月26日（日）、5月5日（火・祝）、5月24日（日）

いずれも午後1時30分から午後2時30分まで

※5月24日（日）の展示解説では、筒井 正氏（東近江市参与）によるスペシャルトークがあります。内容は、木地師発祥の地とされる滋賀県東近江市小椋谷の概況、木地師をめぐる制度の概要、木地師文化を継承するための地元自治体の取り組みについてです。

会場 企画展示室

※企画展観覧料が必要です